



▲演技を披露するスマイル劇団るもいのメンバー（平成26年11月・市文化センター）

同じ目線で向き合う気持ち 楽しく参加できる劇団

スマイル劇団るもい

スマイル劇団るもいは、利用者が楽しく参加できる障がい者支援事業として市内の障がい者支援2団体が協力し、平成13年に結成しました。現在は、障がい者支援5団体の利用者や支援員ら合わせて20人が参加し、公演に向けて練習に励んでいます。

障がい者支援団体の支援員で、事務局を担当する千葉摂さんは「公演では、いつも本番のぎりぎりまで心配な気持ちがありますが、メンバーは本番に強く、舞台を楽しんでいます」と話しています。

スマイル劇団るもいでは毎年、違う演目に挑戦して



スマイル劇団るもい事務局
千葉 摂 さん

います。今年は、オリジナル劇「ジンギスカンとカツ丼」に挑戦し、障がい者支援団体主催のイベントなどで公演しました。「イベント会場や高齢者介護施設などで年間合わせて3、4回公演し、練習の成果を披露しています。みんなで衣装のアイデアなどを出し合いながら、一つひとつの舞台をつくり上げています」。

また、「今年は11月に札幌の障がい者支援事業イベントの会場で公演するほか、12月には新十津川町の施設を慰問する予定です。たくさんの方に劇団のことを知ってほしいですね」と活動内容について話してくれました。

劇団の活動には「おもいやり」が欠かせません。「劇団にはさまざまな方が参加していますし、活動を通じてたくさんの人に出会います。人との出会いで、多くのことを学んでいます」と振り返り、「特別なことをするのではなく、自然体で相手と向き合うことが大切だと考えています。同じ目線で向き合う気持ちですが、思いやりではないでしょうか」と語っています。

◇
スマイル劇団るもいの活動については、下記までお問い合わせください。